

# 國際法外交雜誌

第102卷4号(2004年2月)

---

## 論説

グローバル化する世界における「普遍」と「地域」

——「大東亜共栄圏」論における普遍主義批判の批判的検討——

— 松井 芳郎（名古屋大学教授） …… 1

世界銀行における開発と人権の相克

——先住民族に関する業務政策とインスペクション——

— 桐山 孝信（大阪市立大学教授） ……23

カンボジア特別裁判部の意義と問題

——国際刑事司法における普遍性と個別性——

— 古谷 修一（早稲田大学教授） ……46

国際法における無効の機能

——責任との比較において——

— 濱本 正太郎（神戸大学助教授） ……73

## 資料

判例研究・国際司法裁判所

カメルーンとナイジェリア間の領土・海洋境界紛争事件（先決的抗弁）

— 国際司法裁判所判例研究会 ……103

国連国際法委員会第55会期の審議概要

— 山田 中正（国際法委員会委員） ……125

## 紹介

高村ゆかり・亀山康子 編『京都議定書の国際制度』

— 磯崎 博司（岩手大学教授） ……154

黒澤満 著『軍縮国際法』

— 杉島 正秋（朝日大学教授） ……159

Fiona Macmimman, *WTO and the Environment*

—板倉 美奈子（富山国際大学助教授） ……164

Michel Hirst, *Jurisdiction and the Ambit of the Criminal Law*

—竹内 真理（岡山大学助手） ……171

Dinah Shelton, *JRemedies in International Human Rights Law*

—前田 直子（京都大学大学院博士後期課程） ……176

Yuval Shany, *The Competing Jurisdiction of International Courts and Tribunals*

—吉原 司（関西大学大学院博士後期課程） ……182

## 会報

国際法学会2003年度（第106年次）秋季大会 ……186

主要文献目録について ……230

## 総目次

# 第102巻3号（2003年11月）

---

## 論説

Some Reflections on the Problem of International Public Order

—Hisashi OWADA (Judge of the International Court of Justice) …… 1

国家形成と国際法の機能

——国家承認の新たな位置づけをさぐって——

—王志安（駒沢大学教授） ……31

国際的社債関係と強行法規の適用理論

—野村 美明（大阪大学教授） ……59

欧州連合（EU）の軍事的・非軍事的危機管理

——押収の地域的国際組織による国際平和維持活動の構造変動——

—植田 隆子（国際基督教大学教授） ……92

地域協力の今日的意義

——北欧の視点から——

—大島 美穂（津田塾大学助教授） ……111

## 資料

日本の国際法判例(17)

——2000（平成12）年——

—「日本の国際法判例」研究会 ……136

## 紹介

浦野 起央 著『尖閣諸島・琉球・中国 日中国際関係し【分析・資料・文献】』

—神山 晃令（外務省外交資料館） ……185

寺谷 広司 編『国際人権の逸脱不可能性 緊急事態が照らす法・国家・個人』

—戸田 五郎（京都産業大学教授） ……189

池島 大策 著『南極条約体制と国際法 ——領土、資源、環境をめぐる利害の調整』  
—柴田 明穂（岡山大学助教授） ……195

中村 耕一郎 著『国際「合意」論序説 法的拘束力を有しない国際「合意」について』  
—中野 徹也（関西大学専任講師） ……199

Cesare P.R. Romano,

*The Peaceful Settlement of International Environmental Disputes: A Pragmatic Approach.*

—小中 さつき（早稲田大学大学院研究生） ……204

## 会報

「国際法学会の今後の組織・運営の在り方に関する委員会」 ……209

弔辞 ……214

## 第102巻2号（2003年8月）

---

### 論説

人権の内と外：国際政治学的考察

—初瀬 龍平（京都女子大学教授） …… 1

国際漁業法の新展開と公海の自由

—林 司宣（早稲田大学教授） ……22

国家責任法の妥当基盤

——違法性の根拠と手続的基盤の視点から——

—西村 弓（上智大学助教授） ……44

### 資料

判例研究・国際司法裁判所

2000年4月11日の逮捕状事件

—国際司法裁判所判例研究会 ……67

### 紹介

国際法事例研究会 編著『条約法 ——日本の国際法事例研究会（5）』

—加藤 信行（北海学園大学教授） ……90

納家 政嗣・梅本 哲也 編『大量破壊兵器不拡散の国際政治学』

—城 忠彰（広島修道大学教授） ……94

René, *International Human Rights and Humanitarian Law.*

—新井 京（京都学園大学助教授） ……99

T.M. Franck, *Recourse to Force: State Action against Threats and Armed Attacks.*

—瀬岡 直（同志社大学大学院博士課程） ……104

### 主要文献目録（2001年）

国際法 —濱本 正太郎・山田 卓平 ……109

国際私法 —多田 望・大村 芳昭 ……153

国際政治・外交史 —山元 菜々・西村もも子 ……168

会報

国際法学会2003年度（第106年次）春季大会 ……192

## 第102巻1号（2003年5月）

---

論説

Fishing Subsidies and the World Trade Organization

—Chi CARMODY (Assistant Professor, University of Western Ontario)

…… 1

人権侵害行為に対する国家の刑罰権の行使とその範囲について

—尾崎 久仁子（東北大学学教授） ……23

経済制裁の国内実施措置

——私人に及ぼす影響を中心に——

—内ヶ崎 善英（桐蔭横浜大学助教授） ……57

集団的自衛権の誕生

——秩序と無秩序の間に——

—森 肇志（東京都立大学助教授） ……80

紹介

Nisuke Ando, Edward McWhinney and Rüdiger Wolfrum eds.,

*Liber Amicorum Judge Shigeru Oda*

—松井 芳郎（名古屋大学教授） ……109

藤田 久一・松井芳郎・坂元茂樹 編『人権法と人道法の新世紀』

—浅田 正彦（京都大学教授） ……118

Maritti Koskenniemi, *The Gentle Civilizer of Nations: The Rise and Fall of International Law 1870-1960.*

—豊田 哲也（東京大学大学院博士後期課程） ……124